



宮司プレス 第百八十一号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和三年十二月 十七日

◇宮司の柴田です。 木枯らしが吹き荒れ、境

内西側の桜の霜葉(そうよう)も、散り尽くさ

れました。 寒さ一入(ひとしお)身にしむる

折節となりました。 私事で、大変恐縮(きよ

うしゆく)で、限られた紙面を費(つい)やす

ことはしのびないのですが、朝方から冷え込み

曇りから、やがて、雨となる本朝(ほんちょう)

のような天候、私の左膝(ひだりひざ)に、た

とえようのない、チクリチクリとする痛みをお

ぼえます。 それもそのはず、先々月の十月十

八日に、思いもよらない転倒(てんとう)によ

り、左膝の蓋骨(がいこつ)骨折という怪我を

してしまいました。 文明が今のように進歩し

ていないころ、身のまわりに起こる、ごく一部

の不幸な出来事や病氣や怪我は、罪(つみ)穢

(けが)れからもたらされると信じられていま

した。 したがって、私共の御先祖様は、人知

(じんち)の及(およ)ばない、目に見えない

大きな力にすぎり、祈りを捧げてきたのです。

宮司プレス百七十九号に、「祈り」について詳

述(しょうじゆつ)しました。身も心も清

「祈り」であるのです。 私の不徳(ふとく)

の致すところ、身も心も清らかにして祈るこ

とが、おろそかになったことによるものであ

ることは、自明(じめい)のことでもあります。

猛省(もうせい)をしながらの加療(かりよ

う)の日々でありましたし、今は、一生懸命

(いっしょうけんめい)、リハビリに励んで

いるところです。 宮司プレス第百八十号に、

「三つの幸せ」について言及(げんきぎゅう)

させていただきました。 私が、お宮を留守

(るす)にしても、円滑に運営がなされ

ましたことは、家族をはじめ職員さん、沢山

の方々のお支えあればこそであり、「しても

らう幸せ」を感じ、感謝の気持ちでいっぱい

です。 さらに、車椅子から、松葉杖(まつ

ばつえ)による歩行、松葉杖が、二本から一

本となり、いわゆるギブスもとれて、松葉杖

もなく歩行できるようになる、まさに、時の

流れとともに、「できる幸せ」を実感する毎日

でした。 退院してからは、前述(ぜんじゆ

つ)のとおり、リハビリに励んでいます。が、

看護してくださった医療関係者や、かなり、

迷惑をかけた職員さん、家族、御心配をおか

けた沢山の方々への恩返しをしなければ

ならないわけで、「してあげる幸せ」を実践す

る、これからの日々でありたいと思います。

◇私は、来年、還暦を迎えますので、実は、

今年、前厄年(まえやくどし)でありまし

た。 前述(ぜんじゆつ)した、「三つの幸せ」

に気づかされたわけでありまして、「苦難(くる

なん)は幸福の門」、飛厄(ひやく)、の年に

していかねばなりません。 今号は、私

事で紙面がうまりそうですが、私が、生を享

(う)けたのは、昭和三十七年七月二十七日午

後三時のことでした。 溺死した長兄の、その

グリーンフケア(悲嘆(ひたん)からの回復の

さなか、よくぞ、私を産んでくれたと感慨(かん

んがい)深いものがあります。 しかも、母は、

過酷(かこく)なお産に、生死を彷徨(さまよ

ったそうで、「人は神様のお力によって生かさ

れている」、その母の口癖(くちぐせ)は、私の

神職としての縁(よすが)でもあります。 人

生の長さは、徒然草(つれづれぐさ)にも、「四

季は定(さだ)まれる序(ついで)あり 死期

(しご)は序を待たず」と認(したた)められ

ているように、自分では、決められません。 し

かし、「存命(ぞんめい)の喜び 日々を楽しむ

ざらんや」とも書いてあるように、人生の幅は、

自分の意志で、豊かにできるのではないかと考

えます。マハトマ・ガンディーは、「明日死ぬつもりで生きなさい 永遠に生きるつもりで学びなさい」と論(さと)されました。今日は、残りの人生の始まりの日、この瞬間、今ある命を大切にしたいと思います。これからも日本人の伝統的信念である、神社神道を伝える守る、誇り高き使命を果たしてまいります。そして、「してもらう幸せ」「できる幸せ」を謙虚に受け止め、感謝の心を忘れず、「してあげる幸せ」の実践の日々を過ごしてまいろうと思いません。 御自愛くださいませ。

◇十二月の祭典行事予定(報告も含む)

▼月次祭 *十一月一日

▼本年納めの月次祭 *十二月十五日



▼貴布禰神社月次祭 *十二月一日
祈漁祭 *十二月三日

※海士郷町に鎮座する恵美須神社の誓文

講(せいもんこう)のお祭り

▼大注連縄おろし

▼彦島八幡宮 *十二月五日

※二年ぶりの架け替え



□田の首八幡宮 *十二月二十日

▼社報「産土」第六十号発行、町内配布

*十二月十五日

▼大祓式、除夜祭 *十二月三十一日

◇十二月の宮司動静報告

▼山口県神社庁関係

□身分選考委員会 *十二月一日

□役員会議 *十二月二日

□神社庁新嘗祭 *十二月二日

□下関支部五社会(赤間神社・住吉神社・

忌宮神社・亀山八幡宮・当宮の宮司会

*十二月二十二日

▼人権擁護委員・自治会・その他

□人権の花感謝状贈呈式(本村小)

*十二月十三日

□社会福祉法人あーす評議員会

*十二月十八日

□迫町自治会役員会

*十二月二十二日

□年賀状芳名浄書開始 *十二月六日

